

第 40 回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会

The 40th Congress of Japanese Society of
Endourology and Robotics

医工連携・新技術検討委員会主催 医工連携企画 展示募集要項



一般社団法人 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会

医工連携・新技術検討委員会

委員長 日向 信之

広島大学大学院医歯薬学総合研究科 腎泌尿器科学

第 40 回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会

会長 東 治人

大阪医科薬科大学 医学部 泌尿生殖・発達医学講座 泌尿器科学教室

ご挨拶

時下、貴社におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、第40回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会が、大阪医科薬科大学医学部 泌尿生殖・発達医学講座 泌尿器科学教室 東 治人 会長のもと、2026年11月19日(木)～11月21日(土)の会期で、兵庫県神戸市中央区にて開催されることとなりました。

本学会の対象領域である内視鏡治療分野において、これまでも泌尿器科医はその発展に大きな貢献をされてまいりました。人体内部を内視鏡で初めて観察した事例としては、1853年にフランスの泌尿器科医が尿道から内視鏡を挿入して膀胱内を観察したことが報告されています。また、近年のロボット支援手術の普及においても、泌尿器科医がその普及と発展を牽引してまいりました。2000年に初のロボット支援下手術システムである da Vinci サージカルシステムがFDA(アメリカ食品医薬品局)により認可され、本邦においても、前立腺癌や腎癌に対する手術を中心に、ロボット支援手術が全国で広く用いられるようになりました。近年では、泌尿器科以外の領域においても保険適用が徐々に拡大されており、今後ますますの発展が期待される分野です。本邦では現在、従来の da Vinci サージカルシステムに加え、hinotori サージカルロボットシステム、Hugo RAS システム、da Vinci SP システム、Saroa など、多くの手術支援ロボットが実臨床で使用可能となっています。

2019年に開催された第33回日本泌尿器内視鏡学会総会からは、医工連携企画として、企業技術と医師のニーズマッチングを目的とした技術展示を、医工連携・新技術検討委員会主催で開催してまいりました。泌尿器科では、前述のような先端的低侵襲手術が広く普及しており、国産医療機器開発の視点からも、そのニーズは極めて多く、かつ幅広く存在しています。特に、hinotori と Saroa の2機種は国産の手術支援ロボットとして開発・販売されております。しかしながら、機器開発に寄与するプラットフォームの整備はいまだ十分とは言えず、これらの知識や情報を体系的に共有し、具体的な連携へとつなげる場は、なお十分とは言えませんでした。このたび、第40回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会 会長 東 治人 先生のご高配により、引き続きニーズマッチングを目的とした技術展示を開催することとなりました。

本企画では、経験豊富な泌尿器科医が「ツアーコンダクター」となり、アイデアやニーズを持った泌尿器科医とともに展示ブースを巡る「医工連携展示ブースツアー」や、医工連携に精通した演者による講演・シンポジウムなどを予定しています。出展される企業様にとっては、貴社が有する技術を、関心を持つ泌尿器科医に向けて直接ご紹介いただける絶好の機会になるものと考えております。企業と医師が活発に意見交換を行い、実質的な連携へと発展し得る場となるよう、企画を進めてまいります。

泌尿器科領域では、内視鏡手術から開腹手術、ロボット手術に至るまで、さまざまな手術療法が行われており、腎臓、膀胱、尿道へ挿入する各種カテーテルやガイドワイヤー、さらには手術支援用アプリケーションなど、幅広い医療関連機器が用いられています。一方で、医師のニーズに基づく製品改良や新規開発の余地は、なお数多く存在しております。医工連携企画にご興味をお持ちの企業・団体の皆様におかれましては、ぜひ出展をご検討賜れましたら幸いに存じます。

末筆になりましたが、貴社のますますのご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

謹白

2026年4月吉日

一般社団法人 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会
医工連携・新技術検討委員会
委員長 日向 信之

第40回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会
会長 東 治人



一般社団法人 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会 概要

名称（和文）： 一般社団法人 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会

名称（英文）： Japanese Society of Endourology and Robotics

理事長： 武中 篤（鳥取大学医学部器官制御外科学講座 腎泌尿器学分野）

住所： 〒104-0028 東京都中央区八重洲2丁目11-6 八重洲KNビル6F

TEL： 03-5542-1915

FAX： 03-5542-1925

URL： <https://www.jsee.jp/>

会員数： 約 5,076 名

設立： 1987 年

目的： 本会は、泌尿器内視鏡学をはじめとする泌尿器低侵襲医療及び泌尿器科領域の医療工学に関する研究、教育及びその普及、発展に努め、関連機関との連携を図り国民の福祉の増進に寄与することを目的とする。

事業： 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 学術集会、学術講演会等の開催
- (2) 教育に関する事業
- (3) 機関誌、その他出版物の刊行
- (4) 泌尿器腹腔鏡技術認定制度に関する事業
- (5) 泌尿器内視鏡学に関する研究及び調査
- (6) 内外の関係学術団体との連絡及び提携
- (7) 啓発活動の実施
- (8) その他本会の目的を達成するために必要な事業

第40回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会 概要

会議名称： 第40回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会

会期： 2026年11月19日（木）～11月21日（土）

会長： 東 治人（大阪医科薬科大学医学部 泌尿生殖・発達医学講座 泌尿器科学教室 教授）

会場： 神戸コンベンションセンター（神戸国際会議場、神戸国際展示場）
〒650-0046 神戸市中央区港島中町 6-9-1、6-11-1

テーマ： 今求められる医療の探究と実践

参加予定者： 2,000名（予定）

総会事務局： 大阪医科薬科大学医学部 泌尿生殖・発達医学講座 泌尿器科学教室
〒569-8686 大阪府高槻市大学町 2-7

運営事務局： 株式会社コンベンションリンケージ
〒531-0072 大阪市北区豊崎 3-19-3 PIAS TOWER 11F
TEL：06-6377-2188 FAX：06-6377-2075
E-mail：jser2026@c-linkage.co.jp

※ 企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドラインに従い、関わる費用をウェブサイト等に公開することに同意します。

医工連携・新技術検討委員会主催 医工連携企画 開催概要

企画名称： 医工連携・新技術検討委員会主催 医工連携企画

開催日程： 2026年11月19日（木）～11月21日（土）

展示場所： 神戸コンベンションセンター（神戸国際会議場、神戸国際展示場）
〒650-0046 神戸市中央区港島中町 6-9-1、6-11-1

実施責任者： 一般社団法人 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会
医工連携・新技術検討委員会 委員長 日向 信之

協力団体： 一般社団法人 日本医工ものづくりコモンズ

目的と意義： 各企業の有するユニークで優れた技術の紹介を主旨とし、要素技術と医師のニーズのマッチングを目的とする。

展示ブース数： 30 ブース予定

- 企画予定：
- 1) 医工連携プログラム
医工連携に関する講演、シンポジウムの実施を予定しております。
 - 2) 医工連携展示
高度なものづくり技術を有する企業・団体、または地域産業支援機関によるブース展示を実施いたします。
 - 3) 医工連携展示アワードの募集
泌尿器内視鏡、低侵襲治療の分野等において日本国内のものづくり企業との医工連携によって優れた製品を販売された会員を表彰するために、JSER 医工連携アワードを募集いたします。受賞者は会期中に表彰式を行います。
 - 4) 会員懇親会への参加
医工連携展示参加証もしくは総会の参加証をお持ちの方は、2026年11月20日（金）に実施します会員懇親会へご参加いただけます。

医工連携企画展示 出展要項

1. 開催概要

- 1) 会場 神戸国際展示場
- 2) 日程
- | | | |
|-------|-----------|-------------|
| 搬入・設置 | 11月18日(水) | 15:00~17:00 |
| | 11月19日(木) | 08:30~10:00 |
| 展示 | 11月19日(木) | 10:00~18:00 |
| | 11月20日(金) | 09:00~18:00 |
| 搬出・撤去 | 11月20日(金) | 18:00~20:00 |

※ 医工連携展示は11月19日(木)~11月20日(金)の2日間開催となります。
(懇親会が18:30~20:30なので参加される方は翌日の搬出・撤去も可能です、神戸国際展示場は11月19日(木)21:00閉場予定です。)

- 3) 出展対象 高度なものづくり技術を有する企業・団体、または地域産業支援機関

4) 出展料及び募集小間数

種類	単位	小間サイズ	出展料 (消費税10%込)	募集小間数 (予定)
基礎小間	1小間	1.62 m ² (W1.8m×D0.9m×2.1m)	11,000円	30小間

5) 展示小間割の決定

出展規模、出展内容、申込順等を考慮し、医工連携・新技術検討委員会にて決定いたします。1社1ブースが基準となります。出展社が主催者の承諾なく、小間の全部または一部の譲渡や展示場所の交換を行うことはご遠慮ください。

6) 出展物

本展示は製品ならびに製品情報の展示ではなく、要素技術と医師ニーズのマッチングを目的としており、各企業の有する技術の紹介が展示の主旨となります。

完成品の販売促進が目的となる場合は、学会本体の展示の方へお申込ください。

※ ただし、JSER 会員が企業と共同で製作したものを展示することは、医工連携の促進に繋がる可能性があるため、販売促進が目的となる場合でも展示を認めることといたします。

※ 展示物等が本企画主旨に合わない場合、出展をお断りすることもございます。

7) 薬事法未承認品の展示について

展示会事務局にお問い合わせください。

8) 出展者へのご案内

開催の1ヵ月前までに小間割、搬入、装飾、管理などについて詳細をご連絡します。
什器・照明器具などのリースもこの時にご案内いたします。

9) 出展物の販売の禁止

会期中、現金と引き換えに出展物を引き渡すことは禁止します。(書籍展示のぞく)

10) 会場の管理

会場及び出展物の保全については、最善の保護と管理にあたりますが、天災、その他の不可抗力による事故、盗難、紛失、及び小間内における人的災害の発生については責任を負いません。

11) 会場・会期・開場時間の変更

やむを得ない事情により会場、会期及び開場時間を変更する場合があります。この変更を理由として出展申込を取り消すことは出来ません。またこれによって生じた損害は補償いたしませんので、予めご了承ください。

12) 医工連携企画への参加資格について

1社につき3名様まで医工連携企画参加証を発行いたします。3名を超える参加者につきましては、別途「第40回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会」の参加申込が必要となります。

2. 申込方法

本募集要項の内容をご確認のうえ、締切日までに第40回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会ホームページよりお申込ください。

3. 申込締切

2026年8月31日(月)

※ただし、募集小間数に達し次第、申込を締め切ります。

4. 出展料のお支払

申込締切後、請求書をお送りしますので、下記の指定口座までお振込をお願いいたします。

銀行名：三井住友銀行 高槻駅前支店 (店番 527)

口座番号：普通 7266108

口座名義：第40回日本泌尿器内視鏡ロボティクス学会総会 会長 東 治人

ダ イソジ ツカインホンヒニョウキナイシキヨウホ テイクスガ ツカイウカイ カイヨウ アズ マルヒト

5. 設置概要

1) 小間企画

基礎小間：1小間=間口1.8m×奥行0.9m×高さ2.1m

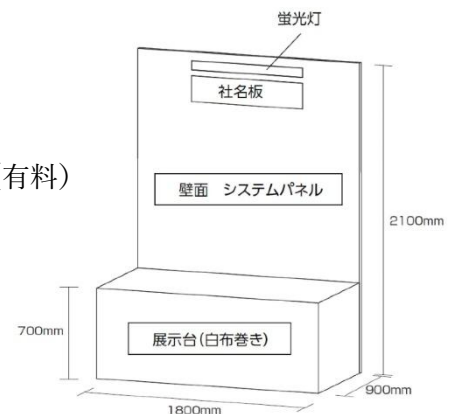
- 間仕切りの後壁 (パネル色：ホワイト ベニヤ仕様 システムパネル) 社名板(白地、黒文字)

※ 社名板に貴社名のロゴ等が必要な場合はご指示ください (有料)

- 展示台1台 (W1,800×D900×H700)
- 白布付き (商品の上にかけるクロスはご持参ください)

以上の物は展示会事務局にて設置いたします。

上記以外の小間内装飾は出展者が行ってください。



2) 禁止事項

- 装飾物、展示物の高さは、2.4mに制限します。
- 床面および会場壁面への直接工作 (ガムテープ、アンカー等)、作業 (床や壁にカッターナイフを直接あてた作業等) は禁止します。
- 通路等、自社ブース以外に避難の妨げとなる設備や物を設置することも出来ません。

3) 電気

出展者の希望により有償で、電気（交流単相二線式 100V60 ヘルツ）を開閉器にて小間まで供給します。

（それ以外の特殊電源に関しては別途ご相談ください）

電気一次幹線工事代金については追ってご案内いたします。

4) 使用制限

給排水を伴う水の使用はできません。また、プロパンガス等危険物の使用は禁止します。

給排水を伴わない水、レーザー光等規定に無いものの使用については事前に展示事務局にご相談をお願いいたします。

5) 重量物

展示場の床耐荷重は 3,000kg/1 m²です。

※100kg/m²以上の重量物がある場合は必ず展示会事務局にご相談下さい。

6) 装飾工事

- 不燃性、準不燃性の物を使用し、特にカーペット・カーテン・布製装飾物・展示用ベニア等は 防災処理を施したもの（防災物品）を使用してください。
- 天井構造は原則禁止いたします。
- 施設内の床・天井・梁、扉、可動間仕切り・サッシ、ダクト、吸入出口配管、配線類、照明器具、盤類等について直接工作の作業は禁止いたします。

7) 消防当局の指導・命令

装飾施工中および開会当日、消防署の査察が入る場合もあります。この際、不適切とみなされた場合は、変更または展示の中止を求められることもありますので、ご注意をお願いいたします。

6. 医工連携企画参加証について

- お申込みいただいた企業様には、申込内容に応じて参加証を発行いたします。
- 1社につき3名様まで医工連携企画参加証を発行いたします。3名を超える参加者につきましては、別途「第40回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会」の参加申込が必要となります。
- 参加証は、見える位置に身につけていただき、参加証の着用がない場合は入場を固くお断りする場合がございます。
- 会場では一般参加者が出入り可能な場所に限り、自由に入場いただいて結構です。ただし、各種委員会や打合せ会への入室などはお断りいたします。
- ランチョンセミナーやスポンサーセミナーなどは、各セミナー共催企業の担当者に許可をお取りください。
- 講演会場内での携帯電話、もしくはそれに代わる通信手段の使用は固く禁止いたします。電源を切るかマナーモードに設定してください。
- 発表、討論を通じて、患者様個人が特定できる、もしくは、プライバシーに触れる可能性がある事項に関しては、学会外での公表はご遠慮ください。
- 会期中、研究者・医師、その他個人参加者への面談に関して、運営側、事務局では、アポイントメントやスケジュールの調整、面談の仲介等は一切行いません。
- なお、総会全体に関する公表・掲載に際しては、運営事務局までご連絡ください。本学会に関わる公表・掲載については、学会事務局までご連絡ください。

医工連携・新技術検討委員会 委員一覧

委員長	日向 信之	広島大学大学院医歯薬学総合研究科腎泌尿器科学
副委員長	秦 聡孝	大分大学医学部附属病院腎泌尿器外科学講座
委員	小路 直	東海大学医学部 外科学系泌尿器科学
委員	影山 進	滋賀医科大学 泌尿器科学講座
委員	榎山 和秀	横浜市立大学医学部附属病院 泌尿器病態学
委員	荒木 元朗	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 泌尿器病態学
委員	古川 順也	徳島大学大学院医歯薬学研究部 泌尿器科学分野
委員	浮村 理	京都府立医科大学泌尿器科学教室
委員	安部 崇重	北海道大学大学院医学研究院 腎泌尿器外科学教室
委員	小島 祥敬	福島県立医科大学医学部 泌尿器科学講座
理事長	武中 篤	鳥取大学医学部器官制御外科学講座 腎泌尿器学分野
大会長	東 治人	大阪医科薬科大学医学部 泌尿生殖・発達医学講座 泌尿器科学教室
実行委員	森實 修一	鳥取大学医学部器官制御外科学講座 腎泌尿器学分野
実行委員	青山 真人	医療法人宝生会 P L病院 泌尿器科
実行委員	井上 貴昭	神戸大学医学部附属病院泌尿器科 泌尿器科
実行委員	南 高文	近畿大学医学部附属病院 泌尿器科
実行委員	小島 浩平	広島大学大学院医歯薬学総合研究科 腎泌尿器科学
実行委員	坂本 信一	千葉大学大学院医学研究院 泌尿器科学
実行委員	成田 伸太郎	秋田大学医学系研究科 泌尿器科
実行委員	池田 篤史	筑波大学附属病院 腎泌尿器外科
実行委員	佐々木 雄太郎	徳島大学大学院医歯薬学研究部 泌尿器科学分野
実行委員	増井 仁彦	国立大学法人京都大学医学部附属病院 泌尿器科
実行委員	田口 和己	名古屋市立大学大学院医学研究科 腎・泌尿器科学分野
実行委員	小林 聡	九州大学大学院医学研究院 泌尿器科学分野
実行委員	西田 幸代	札幌医科大学医学部 泌尿器科学講座
大会校委員	前之園 良一	大阪医科薬科大学医学部 泌尿生殖・発達医学講座泌尿器科学教室